



かくがんじ

各願寺



かくがんじ

# およそ1300年のれきし 各願寺

もん



各願寺のもんは、昔はフアボーレのあたりにあったといわれている。はくりよくのあるちようちんがある。

におうぞうは、木をくみあわせてできている。二体のぞうは、それぞれ「あ」と「うん」の口をしている。

におうぞう



## まわりの名所



## 各願寺のれきし

701年にたてられたお寺。お坊さんが京都からやってきて、今の古里地区を中心に各願寺をつくった。昔は今より大きなお寺で、いろいろな場所から来た1000人のお坊さんが各願寺で勉強していた。そのため、このあたりを「千坊山(せんぼうやま)」といった。



きよくすい

えん

# 4月の行事 曲水の宴

ふすまえ



このふすま絵をもとに、平成元年に歴史のある曲水の宴がふっかつした。

昔のきぞくのふくそうでさんか。スズメの形をした器は「うしょう」とよばれている。



うたよみ



## 曲水の宴 ギャラリー



## 曲水の宴 とは？

平安時代のきぞくや江戸時代のとのさまが楽しんだとされる歌遊び。桜の名所である各願寺では、九重桜のもとでうたげが開かれていた。お酒が入ったうつわが目の前に流れてくると、歌人たちがそれぞれ和歌をよんで短冊に書き、流れてきたお酒を飲む。



れきしのある各願寺へ  
ようこそ！



作成：しらとり支援学校  
中学部2年  
「ふるさと」すてき

見つけ隊  
2023年7月